

Library News!



紫陽花がきれいな季節です。

合唱祭が近づき、校内に歌声が響いています。

蛙の合唱、雨音のメロディ…。耳を澄ますと色々な音が聞こえます。静かな気持ちで本を開けば、心の声が聞こえるかもしれません♪

みんなが知りたい、アレ!

新書を



読んでみませんか?

新書を読んだことがありますか?

文庫本より少し大きめのサイズで、内容は主にノンフィクションです。

図書館には、中学生が興味深く読める新書があります。カウンター横の窓側に分類番号順に並んでいます。

おすすめの新書を紹介します!



『東大留学生ディオンが見たニッポン』 ディオン・ジェ・ティン/著

シンガポールからの留学生が、日本での勉強・部活の中で抱いた戸惑いや疑問を鋭く分析します。「どうして英語をもっと話そうとしないの?」「タメロと敬語、難しい!」「留学しようよ」等、目からウロコの意見も。

『大人もおどろく

『夏休み子ども科学電話相談』
NHKラジオセンター「夏休み子ども科学電話相談」制作班/著

「空は、どの高さから空ですか?」「鏡に映ると反対になるのはなぜ?」
各界の専門家がちゃんと答えます。
あなたは答えられるかな?



面白い新書、他にも!



『ぞわぞわした生きものたち』

『ハトはなぜ首をふって歩くのか』

『大きいなやつがいる君のためのリベンジマニュアル』

『砂糖の世界史』

『徳川家が見た戦争』

『絵でわかる人工知能』

『正しいパンツのたたみ方』

『綾瀬はるか「戦争」を聞く』

『世界の国 1位と最下位』

『ANA旅客機まるごと大百科』



この本、どうでしょう?



『晴れた日は図書館へいこう』 緑川聖司/著

本と図書館が大好きな女の子が図書館で会う、様々な人や事件を描いた短編集。怪談などのミステリーが多い作者ですが、意外にもこれがデビュー作。さわやかな気持ちになれる本です。

『マッチ箱日記』

ポール・フライシュマン/文

イタリアで生まれた少年は、やがて移民としてアメリカへ。彼はマッチ箱に思い出の品を詰め込み…。『ウェズレーの国』の作者による美しい絵本です。小さなモノたちから物語が溢れてきます。

『うちの執事が言うことには』 高里椎奈/著

烏丸家の新当主、18歳の花穎(かえい)と、執事、衣更月(きさらぎ)。

息の合わない不本意コンビの上流階級ミステリー。



職場体験!



2年生の皆さん、職場体験はどうでしたか? 普段あまり馴染みのない「働くこと」を体験して、大変さや面白さを実感できた人も少なくないのではないのでしょうか。多くの人の「働き」が、社会を動かしているのですね!

紫錦台中図書館で職場体験をした2年生が、おすすめの本のPOPを作りました。展示してある本は勿論借りられます。ぜひ手に取って下さい!



ESDを考えよう

ESD(持続可能な開発のための教育)について考えるための本を、図書委員さんが選びました。玄関前には紹介文も掲示しています。

海のプラスチックごみ汚染、レジ袋有料化、廃プラ処理など、私達の身近には深刻な環境問題があります。先日長野で開催されたG20でも協議されました。私達の地球、私達が守りたいですね!



☐本は新しい自分への扉☐